

良心と芸術

芸術から学ぶ良心的な生き方

「あなたは様々な角度から見られている」

芸術・芸術活動が我々に良心的・倫理的な行動を促すことがあるのであろうか。芸術・芸術活動の意義と価値を問い直す機会としたい。芸術の倫理的価値が理解されることによる芸術活動の活性化が、創造都市の構築に役立ち、住民の幸福度・満足度を高める可能性を秘めている。この点は文化経済学の重要テーマのひとつでもある。当シンポジウムは2020年2月末に同志社大学で開催予定のチュービンゲン大学との国際シンポジウム開催の助走としたい。

日時：2019年10月8日(火) 13:10~14:40

会場：同志社大学 今出川校地
良心館 地下1番教室

講師：カリン・モーゼ v. フィルセック博士
(Dr. Karin Moser v. Filseck,
University of Tübingen)
チュービンゲン大学 第二部門 (研究推進機構)
国際研究協力推進部 部長代理



司会：和田喜彦 (同志社大学経済学部教授、EUキャンパス支援室長)

コメンテーター：

八木匡 (同志社大学経済学部教授、創造経済研究センター事務局長)

小原克博 (同志社大学神学部教授、良心学研究センター長)

入場無料

事前申込不要

◆講演は英語で行われます (通訳はつきませんが、日本語の講演要旨を配布します)

◆コメンテーターによる解説があります

◆本学学生および大学院生対象